

1 基本項目	事務事業名	簡易水道管理事業				担当部署	課等名	水道課
	予算事業名	簡易水道一般管理費、簡易水道施設維持管理費、簡易水道施設整備事業					係名	業務係
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1013
	事業期間	開始年度	昭和32年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	簡易水道事業特別会計
	目標名	基本目標 2. 安全で快適な暮らしやすいまち					款	簡易水道費
	政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				項	簡易水道管理費	
	施策名	施策17. 水道水の安定供給				目	一般管理費	
	基本事業名	基本事業17-2. 安定した水道事業経営				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連あり	

2 事業概要	事業概要	簡易水道事業の運営(維持・管理)	
	対象	①簡易水道利用者 ②簡易水道施設	
	手段(活動指標)	①使用料の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
	意図(成果指標)	①清浄な水を安定的に供給する。 ②施設が適切に維持管理される。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 量水器メーター検針件数	件	2,421	2,410	2,580	2,403	93.1%	2,500	
	② 水質検査の実施回数	回	120	120	120	120	100.0%	120	
	成果	① 普及率	%	96.0	92.6	96.0	91.2	95.0%	96.0
		② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	12,162,532	9,013,249	13,416,000	8,200,114	-9.0%	12,019,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	12,162,532	9,013,249	13,416,000	8,200,114	-9.0%	12,019,000
人件費	⑤一般財源	円						
	①事務事業に携わる正規職員数	人	8	8	8	8	0.0%	8
	②年間所要時間	時間	1,950	1,950	1,950	1,950	0.0%	1,950
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	7,852,650	7,852,650	7,852,650	7,852,650	0.0%	7,852,650
総費用(A+B)	円	20,015,182	16,865,899	21,268,650	16,052,764	-4.8%	19,871,650	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	簡易水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。簡易水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	C	C	事業の何らかの見直しが必要	②目的の妥当性	1 妥当である		
				③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	2 目標どおり		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	2 検討の余地あり		
				③上位施策への貢献度	3 低い		
				①コスト効率	2 普通		
結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	1 適正である		
				③負担割合の適正化	2 改善の余地あり		
1次評価	今後の方針	現状を維持	方針の説明等	不要	2次評価		
		事業の拡充				・引き続き、事業の効率化と安定した事業運営の継続に努める。料金については、一部見直しを検討していかなければならない。	
	事業の縮小	・簡易水道はソフトによる上水道への統合を検討する。					
	○統合等の検討	・人件費については簡易水道事業で計上されておらず、水道事業で負担している状況である。					
	終了又は廃止・休止						

1 基本項目	事務事業名	水道管理運営事業（ボトルドウォーター事業分除く。）				担当部署	課等名	水道課
	予算事業名	収益的収支					係名	業務係
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1013
	事業期間	開始年度	昭和29年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水道事業会計（収益的支出）
	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち					款	収益的支出（水道事業費用）
	政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実					項	款に含まれる項全て
	施策名	施策17. 水道水の安定供給					目	項に含まれる目全て。但し、ボトルドウォーター事業分除く。
	基本事業名	基本事業17-2. 安定した水道事業経営					総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連	関連あり	

2 事業概要	事業概要	上水道事業の運営（維持・管理）	
	対象	①上水道利用者 ②上水道施設	
	手段（活動指標）	①料金の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
	意図（成果指標）	①清浄な水を安定的に供給する。 ②施設が適切に維持管理される。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 調定件数	件	89,409	89,444	90,000	89,574	99.5%	90,000
	② 水質検査の実施回数	回	36	36	36	36	100.0%	36
成果	① 普及率	%	89.0	88.0	88.0	88.4	100.5%	88.0
	② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	438,271,795	438,362,787	503,223,000	429,678,866	-2.0%	491,533,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	434,271,795	437,293,047	499,023,000	425,912,008	-2.6%	487,333,000
	⑤一般財源	円	4,000,000	1,069,740	4,200,000	3,766,858	252.1%	4,200,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	9	9	9	9	0.0%	9
	②年間所要時間	時間	8,120	8,120	8,120	8,120	0.0%	8,120
	③人件費（②×④ 4,027円）(B)	円	32,699,240	32,699,240	32,699,240	32,699,240	0.0%	32,699,240
総費用 (A+B)	円	470,971,035	471,062,027	535,922,240	462,378,106	-1.8%	524,232,240	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	上水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。上水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	妥当性	A		A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1
有効性		B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性		1	妥当である
					③対象の妥当性		1	妥当である
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①目標達成度	2	目標どおり		
				②類似事業の有無	1	なし		
				③上位施策への貢献度	2	普通		
結果（課長総括）	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2	普通		
				②実施主体の適正化	1	適正である		
				③負担割合の適正化	2	改善の余地あり		
1次評価	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 ○統合等の検討 終了又は廃止・休止		方針の説明等	2次評価	不要		
		・引き続き、事業の効率化と安定した事業運営の継続に努める。今後、企業債の支払利息の増加に伴う収支の悪化が見込まれることから、自主財源の確保に向け、水道料金の見直しについて、検討していかねばならない。 ・総務省から平成32年4月までに簡易水道の地方公営企業法の適用が求められており、法適用に向けて準備を進める。						

1 基本項目	事務事業名	簡易水道事業				担当部署	課等名	水道課	
	予算事業名	簡易水道改良事業					係名	工務係	
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1014	
	事業期間	開始年度	平成27年度	終了年度	平成32年度		会計	簡易水道事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				予算科目	款	簡易水道費
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実					項	簡易水道事業費
		施策名	施策17. 水道水の安定供給					目	簡易水道施設改良事業費
		基本事業名	基本事業17-1. 水道施設の整備					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令						総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連あり		

2 事業概要	事業概要	老朽化し、また耐震性能の低い水道管、配水池などを計画的に更新をする。	
	対象	老朽化した簡易水道施設(水道管、配水池等)	
	手段(活動指標)	①老朽化した水道管を耐震性の高い水道管に更新。 ②配水池を耐震性の高い配水池に更新。	
	意図(成果指標)	①漏水事故等を未然に防ぐことができる。 ②耐震化され、地震による断水等の被害を最小限にとどめる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	①配水池更新の実施設計	式	1	0	0	0		0	
	②当該年度までの老朽管更新延長	m	0	494	950	986	103.8%	1,300	
	成果	①配水池更新の実施設計の委託	%	0	0	0	0		3
		②老朽管の延べ更新率	%	0	22	40	44	110.0%	55

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	60,185,160	78,020,280	90,000,000	50,227,560	-35.6%	36,808,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円	52,400,000	71,000,000	83,000,000	34,700,000	-51.1%	33,400,000
	④その他(使用料、雑入等)	円	1,668,068	7,020,280	678,000	4,481,428	-36.2%	1,150,000
	⑤一般財源	円	6,117,092		6,322,000	11,046,132		2,258,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	7
	②年間所要時間	時間	1,870	1,870	1,870	1,870	0.0%	1,870
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	7,530,490	7,530,490	7,530,490	7,530,490	0.0%	7,530,490
総費用(A+B)	円	67,715,650	85,550,770	97,530,490	57,758,050	-32.5%	44,338,490	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	漏水事故の多発する老朽管(塩化ビニル管)を耐震性能が高い高密度ポリエチレン管に更新する。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	C	C	事業の統合等の見直しが必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	3 あり	③上位施策への貢献度	2 普通	
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
2 次評価					不要			
1 次評価	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 ○統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	・引き続き、老朽化及び耐震性の低い水道管、配水池等を計画的に更新していかなければならない。 ・総務省から平成32年4月からの簡易水道の地方公営企業法の適用が求められており、法適用に向けて準備を進める。				

1 基本項目	事務事業名	増補改良事業				担当部署	課等名	水道課	
	予算事業名	増補改良事業					係名	工務係	
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1014	
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度	当面継続		会計	水道企業会計（資本的支出）	
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				予算科目	款	資本的支出
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実					項	建設改良費
		施策名	施策17. 水道水の安定供給					目	増補改良事業
		基本事業名	基本事業17-1. 水道施設の整備					総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
		根拠法令						総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況						集中プランとの関連	関連なし	
アウトソーシング導入済（業務委託）									

2 事業概要	事業概要	昭和28年度に開始された水道事業も60年が経過し水道管の漏水が多発しているため、老朽管の耐震管への更新を計画的に実施している。
	対象	老朽化した水道管
	手段（活動指標）	漏水事故が多発する鑄鉄管・塩化ビニル管などの老朽管の布設替（更新）を実施。
	意図（成果指標）	①漏水事故等を未然に防ぐことができる。 ②耐震化され、地震による断水等の被害を最小限にとどめる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 当年度の老朽管布設替延長	m	1,912	2,366	2,329	1,868	80.2%	3,228	
	②								
	成果	① 老朽管の更新率	%	14.9	15.5	16.0	16.0	100.0%	17.0
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	151,289,640	87,417,360	280,000,000	225,697,200	158.2%	280,000,000
	①国庫支出金	円			39,000,000	39,000,000		39,000,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円	93,500,000	64,319,663	213,000,000	167,000,000	159.6%	189,900,000
	④その他（使用料、雑入等）	円	57,789,640	23,097,697	28,000,000	19,697,200	-14.7%	51,100,000
人件費	⑤一般財源	円						
	①事務事業に携わる正規職員数	人	8	8	8	8	0.0%	8
	②年間所要時間	時間	3,220	3,220	3,220	3,220	0.0%	3,220
	③人件費（②×@ 4,027円）(B)	円	12,966,940	12,966,940	12,966,940	12,966,940	0.0%	12,966,940
総費用 (A+B)	円	164,256,580	100,384,300	292,966,940	238,664,140	137.8%	292,966,940	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	生活基盤施設耐震化等交付金を活用し、導水管、送水管の更新を行った。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	B	B	進め方の中で負担割合に改善が必要	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	2 改善の余地あり	
1 次評価	結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	現状を維持 ○事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	・「魚津市水道事業経営計画」を改訂し、引き続き計画的に実施していかなければならない。 ・国で新たに老朽管の更新に係る補助制度が創設されたので、これを活用する。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	拡張事業				担当部署	課等名	水道課
	予算事業名	拡張事業					係名	工務係
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1014
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度	平成30年度	予算科目	会計	水道企業会計（資本的支出）
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				款	資本的支出
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				項	建設改良費
		施策名	施策17. 水道水の安定供給				目	拡張事業
		基本事業名	基本事業17-1. 水道施設の整備				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
		根拠法令					総合戦略との関連	関連なし
		アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	松倉簡易水道の上水道への統合、水道未普及地区の解消、老朽化施設（中央監視施設、計装・機械設備等）の更新及び水源地、高区第1、中区、低区配水池等の増設更新を平成16年度より平成30年度までに、総事業費3,032,400千円で実施する。	
	対象	①松倉簡易水道施設 ②水道未普及地区住民 ③上水道利用者	
	手段（活動指標）	①松倉簡易水道の上水道への統合 ②老朽化施設の更新、増設	
	意図（成果指標）	水源地の築造と配水池の増設により、給水能力が上昇し安定して水が供給可能となる。老朽化した監視制御システムなど計装・機械設備の更新を行い、安全安心で安定した水の供給を図る。	

3 指	活動	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	①	当該年度までの水道施設の増設・更新数（計画総数17施設）	箇所	7	7	7	8	114.3%	8
	②	当該年度までの配水管の布設延長（計画延長22,810M）	m	19,443	20,418	22,212	20,791	93.6%	20,791
	①	当該年度までの水道施設の増設・更新進捗率	%	41	41	41	47	114.6%	47
	②	当該年度までの配水管の布設の進捗率	%	85	90	97	92	94.8%	92

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	187,668,194	579,641,773	140,000,000	63,296,504	-89.1%	8,640,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円	187,668,194	486,480,337	140,000,000			8,640,000
	④その他（使用料、雑入等）	円		93,161,436		63,296,504	-32.1%	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	2,800	2,800	2,800	2,800	0.0%	400
	③人件費（②×@ 4,027円）(B)	円	11,275,600	11,275,600	11,275,600	11,275,600	0.0%	1,610,800
総	費用 (A+B)	円	198,943,794	590,917,373	151,275,600	74,572,104	-87.4%	10,250,800

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	低区配水区の配水池容量不足を解消するために、六郎丸低区配水池の運用を開始した。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	B	B	進め方の中で負担割合に改善が必要	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	2 改善の余地あり	
1次評価	結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	現状を維持 ○事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	「魚津市水道事業経営計画」を改訂し、引き続き、計画的に実施していかなければならない。	2次評価	



1 基本項目	事務事業名	ボトルウォーター事業				担当部署	課等名	水道課
	予算事業名	収益的収支					係名	業務係
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1013
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水道事業会計（収益的支出）
	総合計画	目標名	基本目標5. 豊かな自然と共生したまち				款	水道事業費用
		政策名	政策12. 自然環境の保全・継承				項	営業費用
		施策名	施策34. 水と緑の保全と活用				目	総係費
		基本事業名	基本事業34-1. 水循環の保全				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
		根拠法令					総合戦略との関連	関連なし
		アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	魚津の資源である「水」をPRを目的に事業をスタート。また特色として、売上げの一部（一本あたり10円）を環境保全基金に積立している。
	対象	①環境保全 ②観光客、市民、市外在住者
	手段（活動指標）	①売上げの一部を環境保全基金に寄附する。
	意図（成果指標）	①環境が保全される。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 環境保全基金への積立額	円	185,540	199,280	200,000	210,160	105.1%	200,000	
	② ボトルドウォーター在庫額	円	1,166,095	1,323,382	1,641,600	1,574,903	95.9%	1,641,600	
	成果	① 水循環が保全されていると思う市民の割合	%	55.1	53.8	68.0	56.9	83.7%	70.0
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,520,501	1,307,733	1,641,600	1,574,903	20.4%	1,641,600
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	1,520,501	1,307,733	1,641,600	1,574,903	20.4%	1,641,600
人件費	⑤一般財源	円						
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	40	40	40	40	0.0%	40
	③人件費（②×@ 4,027円）(B)	円	161,080	161,080	161,080	161,080	0.0%	161,080
	総費用 (A+B)	円	1,681,581	1,468,813	1,802,680	1,735,983	18.2%	1,802,680

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	平成29年6月にボトルドウォーターを20,016本を製造し、販売した。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性		B	B	②目的の妥当性		1 妥当である	
				③対象の妥当性		1 妥当である	
効率性	C	C	抜本的見直しまではいかないが見直しが必要	①目標達成度	2 目標どおり		
				②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	2 普通		
結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	3 低い		
				②実施主体の適正化	2 改善の余地あり		
1次評価	方針	方針の説明等	今後は、モンドセレクション最高金賞受賞も加えて、販売促進につなげ、「うおづのうまい水」の知名度を高めながら、水循環の保全、地域紹介のツールとして活用していく。	2次評価	③負担割合の適正化	2 改善の余地あり	
					不要		